

ドッジやサッカー 子ども向けに教室

鈴鹿大生が企画

鈴鹿市の鈴鹿大で17、18の両日、キッズスポーツ教室(中日新聞社など後援)があり、両日合わせて延べ170人の園児

と小学生がドッジボールやサッカーなどの講座に参加した。

教室は、スポーツ選手や指導者の育成に取り組む「鈴鹿大学スポーツアカデミー」が主催。スポーツクラブの運営などを学ぶ同大の学生9人が、



ボール投げなどを通して子どもたちがスポーツに親しんだ教室＝鈴鹿市の鈴鹿大で

授業の成果を地域で実践しようと、初めて企画した。

子どもたちは6つの講座に分かれ、学生や県生涯スポーツ協会のスタッフのアドバイスを受けながら、ドッジボールやサッカー、レスリングなどに親しんだ。

スポーツの基本動作を身に付ける「忍者ナイフ」では、ボールを遠くに飛ばすための正しいフォームなどを学び、「できたね」と声をかけられると笑顔を見せていた。

サッカー教室に参加した鈴鹿市天名小4年の渥美洗哉君(9)は「体をしっかりと動かしながらボールを蹴るよう教わり、上達しそつ」と話した。(山本克也)